

報道関係各位

未来の街と流通・小売業に向けた最新情報を発信するアジア最大級の展示会

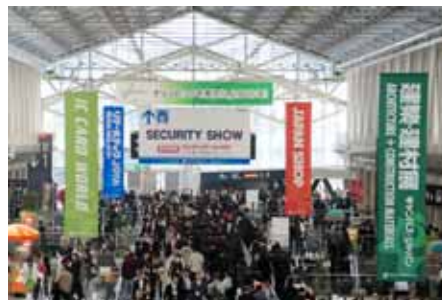
## 総合展示会「街づくり・流通ルネサンス 2009」

2009年3月3日(火)～6日(金) 東京国際展示場「東京ビッグサイト」東西ホール

「JAPAN SHOP 2009」「建築・建材展 2009」「ライティング・フェア 2009」  
「リテールテック JAPAN 2009」「IC CARD WORLD 2009」「SECURITY SHOW 2009」

2009年3月10日(火)～12日(木) 東京国際展示場「東京ビッグサイト」西3・4ホール

「フランチャイズ・ショー 2009」



今年のテーマは「安全で安心な店・街づくり」

東京ビッグサイト東西ホールを使用し、出展規模 1,264 社・3,676 小間(1月20日現在)で開催

日本経済新聞社は、総合展示会「街づくり・流通ルネサンス」(「JAPAN SHOP」「建築・建材展」「ライティング・フェア」「リテールテック JAPAN」「IC CARD WORLD」「SECURITY SHOW」「フランチャイズ・ショー」の7展で構成)を2009年3月に2週にわたって、東京ビッグサイトで開催します。2009年3月3日(火)～6日(金)に行う「JAPAN SHOP」「建築・建材展」「ライティング・フェア」「リテールテック JAPAN」「IC CARD WORLD」「SECURITY SHOW」と翌週、3月10日(火)～12日(木)までの「フランチャイズ・ショー」とを合わせ、1,264社の街づくりと流通の未来を形づくる出展社が参加します。

「街づくり・流通ルネサンス」は、未来の街と流通・小売業界を形づくる店舗・商業施設のこれからの姿が集まるアジア最大級の展示会です。街づくりと流通を担う各種設備・機器・サービス、建材・資材、情報システム、防犯・安全管理、ICカード・ICタグなどの最新情報を総合的に発信します。今回は特別企画展として、デジタルサイネージの最新情報を発信する「リテール・デジタルサイネージ 2009」、実用化が進みつつあるICタグ・RFIDを集中展示する「ICタグ 2009」、非接触 IC カード技術方式「FeliCa」の製品やサービスを揃えた「FeliCa World 2009」を開催します。

さらに今回は近年多くの問題となっている食の偽装表示や防犯・防災意識の高まりといった時代を反映し、同時開催全展で「にぎわう街も安全・安心・快適に。」を共通テーマに掲げ、各展の相乗効果を高めた展示を行い、来場者へさらなる情報発信と安全・安心な未来の店・街づくりについて提案をまいります。

### 画像素材について

各展示会の画像をご希望の方は、「街づくり・流通ルネサンス」ウェブサイト(<http://www.shopbiz.jp/>)「プレス・メディアの方へ」からダウンロードができます。または、共同PR 吉田・黒田・富田 (03-3571-5238)までご依頼ください。



## 街づくり・流通ルネサンス

### 【街づくり・流通ルネサンスとは】

総合展示会「街づくり・流通ルネサンス」には、次世代の流通・産業界を形作る店舗・商業施設の未来の姿が集まります。各種設備・機器、建材、情報システムをはじめ、ハード・ソフトの最新情報を総合的に発信、「流通業の更なる発展」と、「地球にやさしい安全で快適な生活環境の実現」に向けた具体的な提案が行われる「場」です。「JAPAN SHOP」「建築・建材展」「ライティング・フェア」「リテールテック JAPAN」「IC CARD WORLD」「SECURITY SHOW」「フランチャイズ・ショー」で構成します。

### 【街づくり・流通ルネサンス 開催データ】

#### 展示会構成

【JAPAN SHOP 2009、建築・建材展 2009、ライティング・フェア 2009、  
リテールテック JAPAN 2009、IC CARD WORLD 2009、SECURITY SHOW 2009】

会 期： 2009年3月3日(火)～6日(金) 10:00～17:00(最終日のみ 16:30)

会 場： 東京ビッグサイト 東西ホール

開催規模： 1,104社・3,360小間(1小間=9㎡、全6展示会合計)

来場者数： 270,000人(見込み、全6展示会共通)

特別企画展： リテール・デジタルサイネージ 2009、IC タグ 2009、FeliCa World 2009

### 【フランチャイズ・ショー2009】

会 期： 2009年3月10日(火)～12日(木) 10:00～17:00

会 場： 東京ビッグサイト 西3・4ホール

開催規模： 160社・316小間(1小間=9㎡)

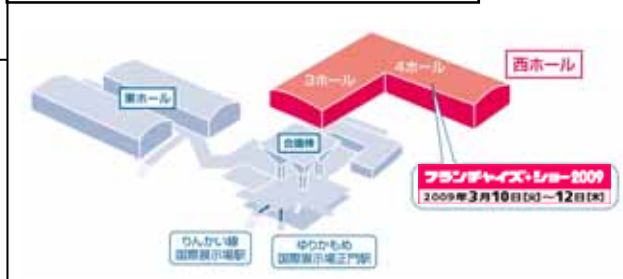
来場者数： 28,000人(見込み)

### 【会場構成】

会期： 3月3日(火) - 6日(金)



会期： 3月10日(火) - 12日(木)



報道関係のお問い合わせ先:

街づくり・流通ルネサンス 2009 広報事務局 共同 PR 内 広報事務局 吉田・黒田・富田  
TEL.03-3571-5238 FAX.03-3571-5380 〒104-8158 東京都中央区銀座 7-2-22 同和ビル

読者からのお問い合わせ先:

ハローダイヤル: 03-5777-8600 (2009年3月まで) <http://www.shopbiz.jp/> (詳細情報を掲載中)

#### 報道関係の皆様へお願い

本資料を記事としてご掲載いただきました際は、誠に恐縮ですが、掲載紙・誌または記事のコピーを上記広報事務局(共同PR内)までご送付ください。何卒よろしくお願い申し上げます。

第38回店舗総合見本市

# JAPAN SHOP 2009

賑わう、魅力的な店づくりの最新情報を

発信するアジア最大級の店舗総合見本市

## トピックス

- 1) 「未来都市」をイメージしたウエルカムプレゼンテーションを企画
- 2) 店舗を彩る最新の店舗什器・多彩なサイン・グラフィックスツールが出展
- 3) 最新の商空間デザインの先端事例から店舗アメニティーなど各種セミナーを開催

「JAPAN SHOP」は、常に時代をリードする、魅力的な店づくりと暮らしやすい街づくりのための最新情報を発信するアジア最大級の店舗総合見本市です。第38回目となる今回は、出展社251社・727小間(1月20日現在)の規模での開催となり、店舗向けの什器・設備などの新製品から、消費者を強くひきつける商空間ディスプレイや、店頭でのサイン・看板など、店舗を構成し演出する製品・サービスを一堂に集め紹介します。また今後の流通経済について議論する「流通交流フォーラム」をはじめ、建築家や商環境デザイナーによる空間デザインの先端事例、店舗アメニティーに関するセミナーなど、新しい流通・魅力的な店づくりについても新たな提案を行います。

## 主なみどころ

【ペーパーカップ約一万個を使用し、未来都市を表現したウエルカムプレゼンテーションを展示！】

特別協力 日本ビジュアルマーチャンダイジング協会

展示会エントランスゾーンにて来場者を迎えるビジュアルプレゼンテーション企画「未来都市・Towers」を展示します。「- 個と個の対話から無限に広がる情報ネットワーク -」。そのコンセプトを表現するモチーフを私たちの身近にある約一万個のペーパーカップの集積で表現します。「個」の連なりが織りなす、無限に成長を続ける未来の都市をデザインし、商空間創造における新たな方向性を提案します。



【店舗用什器、看板・グラフィックスなどの最新製品を紹介】

エコ素材で軽量、組み立てが簡易なアルミを使用した機能的かつデザイン性の高い各種店舗什器・ディスプレイシステムや、透明度のあるガラスやアクリル素材に省エネ効果の高いLEDを組み込んだ店舗向けサイン・ディスプレイ製品など環境対応や各種のニーズに応える各種製品が出展します。また、再現性、高速性、耐候性などをより追求した大型プリンターほか、最新のサイン・看板、グラフィックス制作・店頭販促ツールなど賑わい、魅力ある最先端の店づくりを構成する最新の製品・サービスが多数紹介されます。

【空間デザインに関する特別企画 「空間デザインのコミュニケーション力」】

共催 空間デザイン機構 [(社)日本ディスプレイデザイン協会 / (社)日本商環境設計家協会

(社)日本サインデザイン協会 / (社)日本ディスプレイ業団体連合会]

空間デザイン専門団体の集合体である空間デザイン機構と共催で、特別企画「空間デザインのコミュニケーション力」をテーマに、特別企画を開催します。都市環境を生成する「建築」、「商環境」、「サイン」、「ディスプレイ」の空間デザインの4団体による各賞(ディスプレイデザイン賞、JCD デザイン賞、SDA 賞、ディスプレイ産業賞)を紹介するほか、デザイン領域を包括する新たな視点で選出された「第2回 KU/KAN 賞」の受賞業績を発表します。

【第 19 回流通交流フォーラム開催】 主催:日本小売業協会、日本経済新聞社

会期初日の3月3日(火)に開催する「第19回流通交流フォーラム」では、激動の時代に果敢に挑戦する小売業の経営トップや世界の流通業界に精通する知識人を講師に迎え、今後の日本、アメリカ、中国・アジアの流通業界や、長期的な視点で企業価値を高める成長戦略などについて講演します。

【店舗アメニティーセミナー「商業空間のグリーンアメニティー」】 主催:日本経済新聞社

快適な店づくりやサービス提供のあり方について考える店舗アメニティーセミナーでは、「商業空間におけるグリーンアメニティー効果」をテーマに賑わう、魅力ある店づくりにおけるアメニティー効果を高める緑化デザインや感性工学に基づく花や緑と人との心地よい関係性について提案をいたします。

## 開催概要

名称	JAPAN SHOP 2009 (第38回店舗総合見本市)
会期	2009年3月3日(火)~6日(金) 10:00~17:00(最終日のみ16:30)
会場	東京国際展示場「東京ビッグサイト」東4・5ホール (東京都江東区有明3-21-1)
主催	日本経済新聞社、(財)店舗システム協会
後援	経済産業省、中小企業庁、日本商工会議所、(社)商業施設技術者・団体連合会、日本貿易振興機構(ジェトロ)、全国商工会連合会(順不同)
協力	テレビ東京、日経BP社(順不同)
協賛	板硝子協会、特定非営利活動法人LED照明推進協議会、軽金属製品協会、ステンレス協会、全国商環境設計装備協同組合、全国商店街振興組合連合会、(社)全国消防機器協会、(社)全国スーパーマーケット協会、(社)全日本屋外広告業団体連合会、(社)全日本ネオン協会、(社)日本アミューズメントマシン工業協会、(社)日本アルミニウム協会、(社)日本イベント産業振興協会、有限責任中間法人日本イベントプロデュース協会、(社)日本インダストリアルデザイナー協会、(社)日本インテリアデザイナー協会、(社)日本グラフィックデザイナー協会、日本小売業協会、(社)日本サインデザイン協会、(社)日本サッシ協会、(財)日本産業デザイン振興会、日本室内装飾事業協同組合連合会、(社)日本商環境設計家協会、(社)日本ショッピングセンター協会、(社)日本セルフ・サービス協会、協同組合連合会 日本専門店会連盟、日本チェーンストア協会、(社)日本厨房工業会、(社)日本ディスプレイ業団体連合会、(社)日本ディスプレイデザイン協会、(社)日本鉄鋼連盟、協同組合 日本店装チェーン、(社)日本ドゥ・イット・ユアセルフ協会、(社)日本銅センター、(社)日本バックグラウンド・ミュージック協会、日本ビジュアルマーチャンダイジング協会、日本百貨店協会、日本プラスチック工業連盟、(社)日本フランチャイズチェーン協会、(社)日本ボランティア・チェーン協会、日本マネキンディスプレイ商工組合、日本優良家具販売協同組合、(社)日本冷凍空調工業会、(財)流通システム開発センター(50音順)
メディア協賛	日本経済新聞デジタルメディア
規模	出展社数 251社 出展小間数 727小間 (1小間=9㎡、1月20日現在)
出展分野	商空間デザイン・ディスプレイ、店舗用インテリア製品・素材、店舗用建材、店舗什器・設備・照明、サイン・看板・グラフィックス、店頭SP・POP広告ツール・インスタマーケティングツール、AV機器・システム、店舗・街づくりに関する情報・出版・相談
来場者数	「JAPAN SHOP」「建築・建材展」の合計=150,000人、同時開催全展の合計=270,000人、(共に見込み)
入場料	一般=1,500円、団体(20名以上)=1,000円 <同時開催全展共通・消費税込み> *Webサイトの事前登録で無料(3月2日まで)
URL	<a href="http://www.japan-shop.jp/">http://www.japan-shop.jp/</a> (詳細情報を掲載中)

### 【掲載に関するお問い合わせ先】

#### 共同PR内 広報事務局

〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル  
担当:吉田・黒田・富田  
TEL.03-3571-5238 FAX.03-3571-5380

### 【読者からのお問い合わせ先】

#### ハローダイヤル

03 5777 8600 (2009年3月まで)  
<http://www.shopbiz.jp/>

# 第15回 建築・建材展2009

快適・健康・安全な住環境、商環境の実現をめざして

## トピックス

- 1) 洞爺湖サミットにも登場「ゼロエミッションハウス」を支える 10 の先端技術を紹介
- 2) 耐震・防災建材ゾーンを新設、長期優良住宅の普及と「安全で安心な街づくり」に向けて
- 3) 重要な法律施行が続く建築・建材業界に対応した各種セミナーも充実

「建築・建材展」は快適・健康・安全な住環境、商環境の実現をめざし、住宅建材、店舗建材、ビル建材や設備機器など、建材・関連製品を紹介する総合展として 15 回目を迎えます。

今回は 275 社・606 小間(1 月 20 日現在)の展示規模で開催します。展示会場を「一般建材ゾーン」「健康・エコロジー建材ゾーン」、そして新設の「耐震・防災建材ゾーン」と、来場者に向けて分かりやすくゾーニングし、各種建材・関連製品を紹介します。また、最先端のエネルギー、環境技術を紹介する特別企画や、「改正省エネ法」「高断熱住宅」「環境建築」「快適・健康住宅」をテーマとしたセミナーなども開催します。

## 主なみどころ

【洞爺湖サミットにも登場した「ゼロエミッションハウス」を支える 10 の先端技術を紹介】

今年にはポスト京都議定書として、2013 年以降の温暖化対策に関する国際ルールがよいよ決定される、いわば節目の年となります。国内の環境対策面では、太陽光発電装置(太陽電池)や家庭用燃料電池などが、住宅向け環境対応製品として注目されています。政府もこれらの普及促進に向けた支援を進める予定で、導入に際しての補助金や、省エネ住宅の改修に対する減税制度延長など、建築・建材業界にとっても動向が大きく注目されています。本年の本展でも「省エネ」「環境配慮対応」をテーマとする建材製品が多数、一般展示されますが、下記の特別企画も実施します。

特別企画：最先端のエネルギー・環境技術を導入した  
近未来型エコ住宅『ゼロエミッションハウス』(模型展示)

【協力：新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)】

昨年 7 月の北海道・洞爺湖サミットに登場した『ゼロエミッションハウス』の模型を展示、ゼロエミッションハウスを構成する太陽光発電システム、風力発電機、高効率照明、ヒートポンプ給湯器、家庭用燃料電池システム、環境配慮型建材など、10 の先端技術を紹介します。



【耐震・防災建材ゾーンを新設、長期優良住宅の普及と「安全で安心な街づくり」に向けて】

住宅ストック市場の整備と拡大が、行政とビジネスの両面から進展しています。昨年 11 月末には「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」が成立しました。長期優良住宅の該当条件は今後決定されますが、耐久性や耐震性など建物の強さのほか、補修・リフォームなど維持管理がしやすい構造などもポイントになるでしょう。住宅に関する履歴情報の蓄積と活用も不可欠です。本展では、「安心で安全な街づくり」へのニーズにも対応して、住宅のほか店舗・ビルなどの建築用途で、地震など災害に備える建材や工法を紹介するゾーンを新設しました。また、長期優良住宅の法整備に関するパネル展示も実施します。

「耐震・防災建材ゾーン」の主な出展内容と出展社 [出展規模:12 社 19 小間]

耐震補強関連:旭トステム外装、オクジュー、コーヨークリエイト、古西電機、新工、東海 EC、  
フォワードハウジングソリューション、富士セラ、

制震・免震工法関連:岡部、THK

防災関連:クボタシーアイ(貯水機能付防災ヘッダー)、来夢(簡易テント)

(各出展社の出展内容は予定です)

## 【重要な法律施行が続く建築・建材業界に対応した各種セミナーも充実】

改正建築基準法、改正建築士法に続いて、本年も「改正省エネ法」「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」「瑕疵担保履行法」など、建築・建材業界にとって重要な法律施行が相次ぎます。今年の本展では、下記のプログラムでセミナーを実施する予定です（会場は全て東京ビッグサイト会議棟 6 階会議室）。

「施行直前！改正省エネ法を追い風に」

2009年3月3日(火)14:00～、協力:日経ホームビルダー

「高断熱住宅が持つ健康影響と健康コスト削減を考える～居住者大規模アンケートより」

2009年3月4日(水)10:00～、協力:協力:NPO シックハウスを考える会、安全な住環境に関する研究会

「環境配慮型建築の最新事情」

2009年3月5日(木)10:00～、協力:日経アーキテクチュア

「快適・健康な住生活の実現をめざして～長期優良住宅・省エネ住宅・環境共生」

### 開催概要

名 称	建築・建材展 2009 (第 15 回)
会 期	2009年3月3日(火)～6日(金) 10:00～17:00(最終日のみ 16:30)
会 場	東京国際展示場「東京ビッグサイト」東 5・6 ホール (東京都江東区有明 3-21-1)
主 催	日本経済新聞社
後 援	経済産業省、国土交通省、環境省、(社)日本建築学会、(社)日本建築家協会、 日本貿易振興機構(ジェトロ)、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)、(社)日本建材・住宅設備産業協会、 (財)店舗システム協会(順不同)
協 賛	板硝子協会、(社)インテリア産業協会、ウレタンフォーム工業会、硝子繊維協会、キッチン・バス工業会、(財)建材 試験センター、(財)建築環境・省エネルギー機構、(社)建築業協会、(社)公共建築協会、(財)住宅生産振興財団、 (社)住宅生産団体連合会、(財)住宅リフォーム・紛争処理支援センター、(財)省エネルギーセンター、(社)新都市 ハウジング協会、製品評価技術基盤機構、(社)全国住宅建設産業協会連合会、全国タイル工業組合、(社)全国中 小建築工事業団体連合会、電気床暖房工業会、(社)東京建築士会、(社)日本アルミニウム協会、(社)日本インテ リアデザイナー協会、日本エクステリア工業会、日本オーニング協会、日本屋外収納ユニット工業会、(財)日本規格 協会、日本金属サイディング工業会、(社)日本金属屋根協会、(社)日本空調衛生工事業協会、(社)日本建設業団 体連合会、日本建築金物工業組合、(社)日本建築協会、(社)日本建築材料協会、(社)日本建築士会連合会、 (社)日本建築士事務所協会連合会、(社)日本建築積算協会、(財)日本建築センター、(財)日本建築総合試験所、 (財)日本建築防災協会、日本合板工業組合連合会、(社)日本サッシ協会、(財)日本産業デザイン振興会、(社)日 本シャッター・ドア協会、(社)日本住宅建設産業協会、日本住宅パネル工業協同組合、(社)日本商環境設計家協 会、(社)日本照明器具工業会、日本繊維板工業会、(社)日本ツーバイフォー建築協会、日本テントシート工業組合 連合会、(社)日本ドゥ・イット・ユアセルフ協会、(社)日本銅センター、(社)日本塗料工業会、(社)日本木造住宅産 業協会、日本窯業外装材協会、(社)不動産協会、(社)プレハブ建築協会、(財)ベターリビング、(社)リビングアメニ ティ協会、ロックウール工業会(順不同)
協 力	テレビ東京、日経 BP 社(順不同)
メディア協賛	日本経済新聞デジタルメディア
規 模	出展社数 275 社、出展小間数 606 小間 (1 小間=9 m <sup>2</sup> 、1 月 20 日現在)
出展分野	【一般建材・関連製品ゾーン】 内装部材・外装部材、床材、屋根材、開口部材、副資材、防火材・耐火材、吸音材・遮音材、断熱材・防水材、基礎 材・構造材、その他部材、インテリア、景観材料・エクステリア、キャンパス関連、ソフトウェア、設計・工事関連、設備 機器、関連情報・出版・コンサルティング・FC 募集ほか 【健康・エコロジー建材ゾーン】 VOC 対策建材、天然素材使用建材、環境配慮型建材、塗料、工法、換気設備・システム、省エネルギー関連製品ほ か 【耐震・防災建材ゾーン(新設)】 耐震補強工法、耐震補強部材、制震・免震工法、防災建材・製品ほか 以上、予定
来場者数	「建築・建材展」「JAPAN SHOP」の合計 = 150,000 人、同時開催全展の合計 = 270,000 人(共に見込み)
入 場 料	一般=1,500 円、団体(20 名以上)=1,000 円 <同時開催全展共通・消費税込み> * Web サイトの事前登録で無料(3 月 2 日まで)
U R L	<a href="http://www.ac-materials.jp/">http://www.ac-materials.jp/</a> (詳細情報を掲載中)

### 【掲載に関するお問い合わせ先】

#### 共同PR内 広報事務局

〒104-8158 東京都中央区銀座 7 - 2 - 22 同和ビル  
担当: 富田・吉田・黒田  
TEL.03-3571-5238 FAX.03-3571-5380

### 【読者からのお問い合わせ先】

#### ハロ - ダイヤル

03 5777 8600 (2009年3月まで)  
<http://www.shopbiz.jp/>

# ライティングフェア 2009 (第9回国際照明総合展)

“人に地球に・・・やさしいあかり”をテーマに過去最大規模で開催！  
地球環境に配慮した照明製品と技術を一堂に紹介

## トピックス

- 1) 展示規模過去最大 - 国内外から過去最多の133社が参加、出展小間数517小間  
さらに身近になる「LED照明」と、次世代照明の新光源「有機EL」の実用化に注目！
- 2) 青色LEDの開発者：中村修二教授 × 有機EL照明の第一人者：城戸淳二教授による「未来のあかり」対談
- 3) 照明のリニューアルでどれくらいの省エネが可能に？～家族の一日を通してわかりやすく紹介する主催者企画「あかりは生まれ変わる～照明器具交換でCO<sub>2</sub>削減」

第9回目の開催となる「ライティング・フェア」は、国内外の照明器具・光源・関連材料・部品など照明製品・技術を一堂に展示、紹介する総合展示会です。今回は133社517小間(1月20日現在)と過去最大規模で開催します。

地球温暖化に高い関心が集まる昨今、照明は家庭における消費電力の約16%、オフィスでは約20%を占め、照明の省エネ化がCO<sub>2</sub>削減につながるものと期待されています。ライティング・フェアは“人に地球に...やさしいあかり”をテーマに、消費電力が少ない省エネ照明器具をバリエーション豊かに紹介するほか、明るく快適で使いやすい住宅用照明、低コストで高い快適性を実現するオフィス・産業用照明、デザイン性と照明演出に優れた店舗用照明、安全で暮らしやすい街づくりに重要な役割を担う防犯灯・屋外照明など最新製品・技術の展示や照明空間の演出提案を行います。



## 主なみどころ

### 【「次世代省エネ照明」LED照明と有機EL照明の最新製品・技術を展示】

消費電力量が多い白熱電球の生産減少を求める声に伴い、次世代の省エネ光源として高い注目を集めるLEDと有機EL。2008年3月に経済産業省が策定した「Cool Earth-エネルギー革新技術計画」においても、省エネに貢献する革新的技術「21」の中の次世代高効率照明としてこの二つが取り上げられています。

#### - さらに身近になるLED照明

従来の光源に比べて省エネ、長寿命の特長を持ち、小型化・薄型化によるデザイン・設計の自由度も高いことから、信号やディスプレイをはじめ、農業や医療分野などまで幅広い用途で使用されるようになったLED。地球温暖化ガス削減の動きとともに今後、さらなる世界市場の拡大が予測されており、住宅用照明など身近なあかりとして飛躍的に普及が広まるといわれています。今回、パナソニック電工、東芝ライテック、シチズン電子、三菱電機オスラム、フィリップス エレクトロニクス ジャパンなどLED照明器具、ランプ、モジュール、デバイスなどを扱う企業が多数出展、多彩なLED演出展開の提案と新技術・新製品の発表が期待されます。

#### - 有機EL照明がいよいよ実用化

前回のライティング・フェアで試作製品として展示されていた有機EL照明は、わずか0.1ミクロンの薄さで影の少ない照明を可能にし、省エネで長寿命という特長から、蛍光灯に取って代わる次世代照明として実用化への技術革新が期待されています。今回2008年5月に誕生した照明用有機ELパネルの合弁会社Lumiotec(ルミオテック)が出展、実用化に迫る最先端の製品展示に期待が高まります。また、国内で有機EL照明の最先端技術を研究している有機エレクトロニクス研究所が、照明用有機ELパネルを数百枚用いて製作するスタイリッシュな有機ELラウンジは注目です。



有機ELラウンジ完成図  
(有機エレクトロニクス研究所)

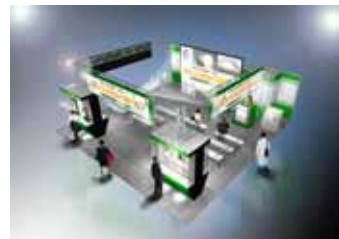
## 【最先端の照明セミナー「LEDと有機ELが切り開く照明の未来」】

講師 / 青色LEDの開発者: 中村修二教授 × 有機EL照明の第一人者: 城戸淳二教授

青色LEDの製品化に世界で初めて成功した中村修二教授と、有機EL白色発光及び高輝度化に成功した城戸淳二教授。次世代照明分野における権威として世界中の研究者から知られるお二人が、本展示会にて初めて一緒に講演を行うほか、「LEDと有機ELが切り開く照明の未来」と題し、「未来のあかり」について議論いただきます。

## 【テーマ展示コーナー「あかりは生まれ変わる～照明器具交換でCO<sub>2</sub>削減」】

京都議定書で定められたCO<sub>2</sub>削減量の目標達成が危ぶまれる昨今、省エネに関してますます注目が集まっています。その中でも照明は家庭における消費電力の約16%、オフィスでは約20%を占め、照明の省エネ化がCO<sub>2</sub>削減の大きな要因になるといわれています。今回のテーマ展示コーナーでは、ある家族の一日を「オフィス」、「店舗」、「住宅」、「街路(帰り道)」に分け、それぞれの生活シーンで使用されている照明はどのような省エネが考えられているのか、そして最新器具へのリニューアルでどれほどのCO<sub>2</sub>削減が可能なのか、10年前と現在を比較しながらわかりやすく紹介します。



テーマ展示コーナー完成図

企画: (社)日本照明器具工業会「ライティング・フェア 2009 企画委員会」

協賛: 岩崎電気、NEC ライティング、遠藤照明、オーデリック、コイズミ照明、小糸工業、ジーエス・ユアサパワーサプライ、星和電機、大光電機、東芝ライテック、パナソニック電工、日立ライティング、三菱電機照明、ヤマギワ(五十音順)

## 開催概要

会期	2009年3月3日(火)～6日(金) 10:00～17:00(最終日16:30まで)
会場	東京国際展示場「東京ビッグサイト」東3ホール(東京都江東区有明3-21-1)
主催	(社)日本照明器具工業会、日本経済新聞社
後援	経済産業省、国土交通省、環境省、総務省消防庁、(社)照明学会、(社)日本電球工業会、日本商工会議所、全国商工会連合会、日本貿易振興機構(ジェトロ)(順不同)
協賛	電気事業連合会、(財)電気安全環境研究所、(社)日本電気協会、(財)日本建築センター、(財)日本消防設備安全センター、(財)日本産業デザイン振興会、(社)日本照明家協会、(社)産業安全技術協会、(社)日本電設工業協会、(社)日本配線器具工業会、特定非営利活動法人LED照明推進協議会、(社)電気設備学会、(社)電池工業会、日本百貨店協会、(社)日本火災報知機工業会、(社)インテリア産業協会、(社)ニューオフィス推進協議会、(社)日本インテリアデザイナー協会、(社)日本設備設計事務所協会、全日本電気工業工業組合連合会、全日本電設資材卸業協同組合連合会、(社)日本インテリアファブリックス協会、全国舞台テレビ照明事業協同組合、(社)劇場演出空間技術協会、(社)商業施設技術者・団体連合会(順不同)
協力	テレビ東京、日経BP社(順不同)
メディア協賛	日本経済新聞デジタルメディア
出展社数	出展社数133社、出展小間数517小間(1小間=9㎡、1月20日現在)
出展分野	照明器具、光源、関連材料・部品、情報、出版など
来場者数	100,000人(見込み)
入場料	一般=1,500円、団体(20名以上)=1,000円 <同時開催全展共通・消費税込み> *Webサイトの事前登録で無料(3月2日まで)
URL	<a href="http://www.lightingfair.jp/">http://www.lightingfair.jp/</a> (詳細情報を掲載中)

### 【掲載に関するお問い合わせ先】

#### 共同PR内 広報事務局

〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル  
担当: 黒田、吉田、富田  
TEL.03-3571-5238 FAX.03-3571-5380

### 【読者からのお問い合わせ先】

#### ハローダイヤル

03-5777-8600 (2009年3月まで)  
<http://www.shopbiz.jp/>

# リテールテック JAPAN 2009

## リテール・デジタルサイネージ 2009 ICタグ2009

流通情報システムに関するあらゆる最新情報が集結！新特別企画展も注目！

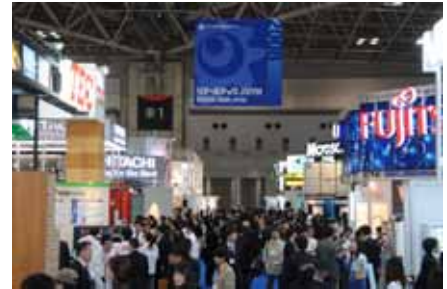
### トピックス

- 1) ショッピングの未来が見える。流通情報システムの最新動向が一堂に
- 2) 特別企画展「リテール・デジタルサイネージ 2009」を開催。話題のシステムに注目
- 3) GS1 データバーなど“食の安全・安心”へつながる標準化を紹介

25 回目の開催を迎える「リテールテック JAPAN」は、POS レジなどの店舗システムからチェーン本部システム、店頭プロモーション機器、RFID・IC タグ、バックヤード・物流システムまで、流通情報システムの最新機器・システム、関連サービスが一堂に揃う国内最大の流通情報システム総合展です。

新たな特別企画展として、映像情報機器を活用した次世代型インフォメーションシステム「デジタルサイネージ」を集中的に展示する国内初の展示会「リテール・デジタルサイネージ 2009」を併設します。

今回は、168社680小間の規模で開催(1月20日現在)。会議棟では「環境」や「食の安全・安心」などのほか「標準化」「物流」などをテーマにセミナーを、展示会場内においてもワークショップを実施します。



### 主なみどころ

#### 【強力な店頭販促システム「デジタルサイネージ」の最新動向を紹介】

魅力的なコンテンツを的確なタイミングで適切な対象者に発信できる「デジタルサイネージ」は、流通業を中心にオフィス内、駅、公共施設など幅広い分野で急速な広がりを見せています。2008年の国内市場が2007年比14%増の649億円になる成長をみせ、2010年には同36%増の779億円に達すると見られています(富士キメラ総研調査)。

単純な映像ディスプレイを設置するだけでなく、来店客の属性にあわせ適切なコンテンツ(広告など)を配信するシステムも開発され、流通業にとっては一歩進んだ店頭プロモーションを可能にするシステムとして、期待が高まっています。本展示会では、NEC、富士通、シャープシステムプロダクトなどが出展するほか、下記特別企画展「リテール・デジタルサイネージ」を開催し、最新情報を紹介します。

#### 【特別企画展「リテール・デジタルサイネージ 2009」】

(主催:日本経済新聞社、特別協力 デジタルサイネージコンソーシアム)

「デジタルサイネージ」に関するハード、ソフト、システムからコンテンツまでを集中展示し、流通業での効果的な活用法を提案します。主な出展社:ソニー、NEC ディスプレーソリューションズ、三菱電機、SCALA など(38社82小間)。

#### 【“食の安全・安心”へつながる標準化。新バーコード「GS1 データバー」紹介】

食品の偽装表示が問題になる中、生産日・消費期限など現行型より約6倍の情報が記載でき、厳密な消費期限管理などに活用できる新型バーコード「GS1 データバー」の導入検討が大手流通業で進んでいます。

今回のリテールテック JAPANでは、「GS1 データバー」対応のハンディターミナルなどをはじめ、ラベルプリンター、POS レジ、スキャナなど各種対応製品が出展されます。また、小売店舗で実施された導入実証実験の概要・結果を、映像やパネル展示などで紹介するほか、関連セミナーでも担当者から報告がなされます。小売・流通業が直面する新たな課題、「食の安全・安心」に繋がる情報システムの構築を提案します。

#### 【リテールテック JAPAN 25 回開催記念シンポジウム「環境問題に積極的に取り組む大手流通業」】

主催:日本経済新聞社

持続可能な社会の確立に向け、環境に配慮した企業経営が求められています。流通業においても、店舗施設、物流、商品開発などにおいて、環境負荷を下げる取り組みが進められています。

本シンポジウムでは、積極的に環境対応を進めている先進小売業が、自社の取り組みを紹介、今後の方向性などを議論します。

日 時: 3月4日(水) 10:00~13:00  
会 場: 東京ビッグサイト会議棟 1階レセプションホール  
講 師: イオンリテール 常務取締役 環境・社会貢献担当 上山 静一氏  
伊勢丹 環境委員会 事務局長 加藤 正巳氏 / 同事務局 望月 友子氏  
セブン&アイ・ホールディングス 常務執行役員 稲岡 稔氏  
ローソン 常務執行役員 CIO 兼 ITステーションディレクター 横溝 陽一氏  
コーディネーター: 舟本秀男氏(舟本流通研究室)

## 【「WELCOME TO AGRICULTURE ~ 産業化に向けて変化する“農”の姿】

主催: 日本経済新聞社 / 生活者のための食の安心協議会 特別協力: 農業情報学会

流通・小売業にとって「食の安全・安心」に対する責任がますます高まっています。この状況を逆にビジネスチャンスとして捉え、みずからが率先して川上部門と連携し、次世代食料生産流通システムを確立しようとする動きが広がっています。本セミナーでは、こうした動きに呼応する「農業現場」の状況を報告すると共に、流通・小売業と「農業生産者」とのビジネス交流を促進するための提案を行います。なお、本セミナーは「農業情報学会」が顕彰する「農業・食料産業イノベーション大賞」の記念シンポジウムとして開催されます。

3月5日(木) 午前10時~午後1時 東京ビッグサイト会議棟6階会議室

## 開催概要

名 称 第25回流通情報システム総合展 リテールテック JAPAN 2009  
会 期 2009年3月3日(火)~3月6日(金) 10:00~17:00(最終日のみ 16:30)  
会 場 東京国際展示場「東京ビッグサイト」東1・2ホール (東京都江東区有明3-21-1)  
主 催 日本経済新聞社  
特別協力 (財)流通システム開発センター  
後 援 経済産業省、総務省、農林水産省、中小企業庁、日本商工会議所、全国商工会連合会、  
(財)店舗システム協会 (順不同)  
協 力 テレビ東京、日経BP社  
協 賛 日本小売業協会、日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、(社)日本ショッピングセンター協会、(社)日本フランチャイズチェーン協会、(社)日本ボランタリー・チェーン協会、日本スーパーマーケット協会、(協連)日本商店連盟、(協連)日本専門店会連盟、(社)全国信販協会、(社)日本クレジット産業協会、全国銀行協会、(社)全国地方銀行協会、(社)第二地方銀行協会、商工中金、(社)全国信用金庫協会、(社)ビジネス機械・情報システム産業協会、日本自動販売機工業会、(社)日本防犯設備協会、(財)日本情報処理開発協会、(社)テレコムサービス協会、(社)情報サービス産業協会、(財)ニューメディア開発協会、日本クレジットカード協会、(社)日本テレマーケティング協会、(社)日本自動認識システム協会、(社)流通問題研究協会、日本電子決済推進機構日本デビットカード推進協議会、日本EAS機器協議会、(社)日本ロジスティクスシステム協会(順不同)  
メディア協賛 日本経済新聞デジタルメディア  
規 模 出展社・団体数:168社 / 出展小間数:680小間(1小間=9㎡、1月20日現在)  
出展分野 本部・店舗システム、POSシステム、ハンディターミナル、ポイントカード、ICタグ、デジタルサイネージ、EDIシステム、物流システムなど、流通業向け情報システム全般  
来場者数 「IC CARD WORLD」との合計=160,000人、同時開催全展の合計=270,000人(共に見込み)  
入 場 料 当日一般1,500円 / 当日団体20名以上1,000円(同時開催展と共通、税込み)  
\*Webサイトの事前登録で無料(3月2日まで)  
U R L <http://www.retailtech.jp/> (詳細情報を掲載中)

### 【掲載に関するお問い合わせ先】

共同PR内 広報事務局  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル  
担当: 吉田・黒田・富田  
TEL.03-3571-5238 FAX.03-3571-5380

### 【読者からのお問い合わせ先】

ハローダイヤル  
03 5777 8600 (2009年3月まで)  
<http://www.shopbiz.jp/>

第11回 ICカード・ICタグ総合展

# IC CARD WORLD 2009

## ICタグ2009 FeliCa World 2009

街とビジネスを元気にする、ICカード・ICタグ

### トピックス

- 1) 電子マネーやクレジット決済、交通乗車券、社員証や学生証など幅広い分野で応用されている IC カードの最新情報を発信
- 2) IC タグと RFID を特集する特別企画展「IC タグ 2009」を開催
- 3) 「FeliCa World 2009」開催！おサイフケータイの最新ライフスタイルを体験

「IC CARD WORLD」は交通、セキュリティ、行政など、様々な分野で広く普及が進み、いまや国民の生活やビジネスに不可欠のインフラとなった IC カードに関連する製品や機器、そして IC カードを活用した各分野のサービスやソリューションまでを展示する国内最大の展示会です。

11 回目の開催を迎える今回は、54 社・団体(1月20日現在)の展示規模で開催します。本展では「Suica」などに代表される電子マネーやクレジット決済など、すでに一般的に知られる利用法から、社員証・学生証などのIDカードやオフィスセキュリティなどにも幅広く利用されるICカードの多様な可能性を実際に体感していただけます。また今年も非接触 IC カード技術方式「FeliCa」をテーマとした特別企画展「FeliCa World」と最新の IC タグと RFID ソリューションが一堂に揃う特別企画展「IC タグ 2009」を加えた総合的な構成で、流通業をはじめとする各分野のユーザー16万人とのビジネス・コミュニケーションの場として開催します。

また、同時開催のセミナーやワークショップ、おサイフケータイを利用したスタンプラリーなど豊富な内容で情報発信します。

### 主なみどころ

#### 【特別企画展「IC タグ 2009」】

IC タグや RFID による流通サプライチェーン効率化の取り組みを紹介

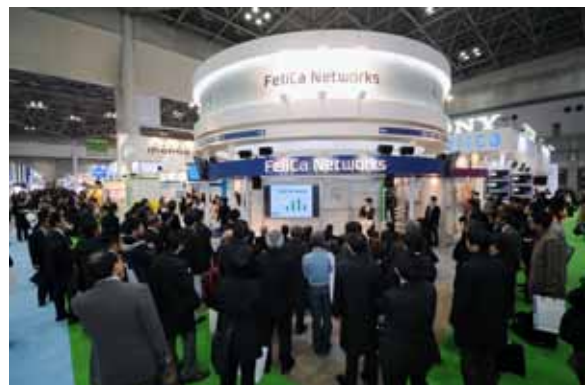
特別企画展「IC タグ 2009」では、IC タグ・RFID 関連の技術や製品、ソリューションを紹介します。近年、国内でも UHF 帯が本格的に利用可能となるなど環境整備が進み、小売、物流、製造、サービス、交通、教育など多くの分野で RFID の活用機運が高まっています。本特別企画展では、UHF 帯 RFID を中心とする、様々な新世代の機器やソリューションを紹介します(出展規模:9社・18小間)。

#### 【特別企画展「FeliCa World 2009」】

FeliCa に関する最新の技術とサービスを大特集

IC CARD WORLD の一角では、非接触 IC カード技術方式 FeliCa の情報を集中的に発信する特別企画展「FeliCa World 2009」を開催します。FeliCa に関連する企業が一堂に集まり、最新の製品やサービスを展示。さらに会場内ワークショップでは、FeliCa ビジネスの今後を占う業界のキーパーソンによるパネルディスカッションも展開します。

クレジットや電子マネー、交通乗車券などのインフラが整い、FeliCa は日本全国で利用されるようになりました。今後は、そのインフラやサービスを活用し、利用者や事業者にも具体的なメリットを提供する段階に入ります。FeliCa を利用できる環境を広げる新しいサービスや製品に注目が集まりそうです(出展規模:16社・53小間)。



## 【参加型企画「おサイフケータイ スタンプラリー」】

### 各社のおサイフケータイを使ったポイントラリーと電子クーポンを体験

例年好評を博している、「おサイフケータイ」を使って非接触ICならではの便利な体験をしていただく来場者参加型企画が、今年は「おサイフケータイ スタンプラリー」としてリニューアル。スタンプラリーに必要なアプリはビッグサイト各所に設置された約 100 台のデジタルサイネージ端末から配信。ステキな景品の当たるスタンプラリーや特別なサービスが受けられる電子クーポンなどを通じて、先進技術を実際に楽しく体験していただけます。NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク各キャリアのおサイフケータイでご参加いただけます。

## 開催概要

名称	IC CARD WORLD 2009 (第 11 回)
会期	2009 年 3 月 3 日 (火) ~ 3 月 6 日 (金) 10:00 ~ 17:00 (最終日のみ 16:30)
会場	東京国際展示場「東京ビッグサイト」東 2 ホール (東京都江東区有明 3-21-1)
主催	日本経済新聞社
後援	総務省、経済産業省 (順不同)
協力	テレビ東京、日経 BP 社 (順不同)
協賛	日本 IC カードシステム利用促進協議会、(財)日本規格協会、日本電子決済推進機構、(社)日本自動認識システム協会、(財)地方自治情報センター、(財)ニューメディア開発協会、(社)ビジネス機械・情報システム産業協会、次世代 IC カードシステム研究会、次世代電子商取引推進協議会、電子商取引安全技術研究組合、日本クレジットカード協会、(社)日本クレジット産業協会 (順不同)
企画協力	シーメディア (月刊 CardWave)
海外協力	CardsNow!Asia / PassAgeNow!
メディア協賛	日本経済新聞デジタルメディア
規模	出展社数 54 社、出展小間数 158 小間 (1 小間 = 9 m <sup>2</sup> 、1 月 20 日現在)
出展分野	IC カード、IC タグ・RFID、おサイフケータイ、NFC 対応機器 / リーダ・ライタ、プリンタ、決済端末、自動販売機 / カード・タグ関連ソフトウェア、ミドルウェア、サーバ、開発環境 / 電子マネー、クレジット、決済システム、交通乗車券 / 電子チケット、ポイントカード、クーポン / 社員証、入退室管理、PC ログインなどの ID 管理、セキュリティ / 流通、物流、街づくりなど各分野の IC カード・IC タグ活用ソリューション など
来場者数	「リテールテック JAPAN」との合計 = 160,000 人、同時開催全展の合計 = 270,000 人 (共に見込み)
入場料	当日一般 1,500 円、当日団体 20 名以上 1,000 円 < 同時開催全展共通・消費税込み > * Web サイトの事前登録で無料 (3 月 2 日まで)
URL	<a href="http://www.iccard.jp/">http://www.iccard.jp/</a> (詳細情報を掲載中)

以上、予定

## 【掲載に関するお問い合わせ先】

**共同PR内 広報事務局**  
〒104-8158 東京都中央区銀座 7 - 2 - 22 同和ビル  
担当: 富田・黒田・吉田  
TEL.03-3571-5238 FAX.03-3571-5380

## 【読者からのお問い合わせ先】

**ハローダイヤル**  
**03 5777 8600** (2009 年 3 月まで)  
<http://www.shopbiz.jp/>

## 第17回 セキュリティ・安全管理総合展

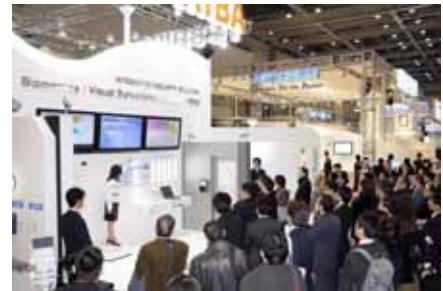
# SECURITY SHOW 2009

安全で安心な街づくりを目指して最新のセキュリティ&セーフティ関連情報を発信

### トピックス

- 1) 安全で安心な街づくり・社会づくりを実現するセキュリティ製品を一挙紹介
- 2) ビル管理・省エネとも連携した「統合セキュリティシステム」を提案
- 3) 「ネットワークカメラ・ゾーン」を中心に、映像監視システムの最先端を情報発信

「SECURITY SHOW」は、映像監視システムや、ICカード・RFID およびバイオメトリクス(生体認証)などを用いた入退管理システムをはじめ、“安全で安心な街づくり・社会づくり”を実現する機器・システム・サービスを紹介する、セキュリティ・安全管理分野では日本最大級の展示会です。第17回目となる今回の「SECURITY SHOW 2009」では、犯罪・災害などの外的リスクや、情報漏洩・不正行為などの内部リスクから、オフィス、店舗、公共施設、一般家庭を守るセキュリティ・セーフティ関連製品を一堂に紹介します。



昨年、警察庁所管の社団法人日本防犯設備協会が制定した「優良防犯機器認定制度(RBSS)」による監視カメラとデジタルレコーダーの審査が開始されたり、「防犯優良マンション」認定機関7団体が初めて登録されたりと、セキュリティ機器・設備のさらなる安全性確保に向けた具体的な動きが目立ちました。品質・性能が保証された信頼性が高いセキュリティ機器・設備の導入が、ますます進むと考えられるなか、本展示会では、「安全・安心」分野における質の高さがより重視されるこれからの時代に応じた最先端のセキュリティ・安全管理関連の情報を、セミナーなどの関連企画とともに総合的に発信します。

### 主なみどころ

#### 【統合セキュリティシステムの提案～セキュリティからビル管理・省エネまで、設備連携に重点】

近年各社が力を入れているのが「統合セキュリティシステム」の提案です。

三菱電機は、映像監視、入退管理、業務システム、ビル設備との連携により、ビル・オフィスのセキュリティや快適性を向上させるトータル・セキュリティ・ソリューション「DIGUARD(ディガード)」を展開していますが、今回はセキュリティとビル管理・省エネとの連携をさらに密接に統合したシステムの提案を行います。例えば入退室の情報を基に特定の座席付近の照明の点灯・消灯やエアコンの運転・停止ができ、省エネ・運営費用の省コスト化が行えるビルオートメーションシステムを紹介します。

ほかにも、既存のネットワーク活用で容易に導入・追加・変更が行え、他システムとの連携によりID管理を容易かつ確実に行える統合型セキュリティシステム(パナソニック/パナソニック電工)、入退管理、録画監視、鍵管理装置、キャビネット、センサー警戒システムなど様々なコンポーネントを一元管理する総合セキュリティシステム(クマヒラ)、中央監視室にて監視・警備業務に携わる方の業務を効率化することを目的としたIP統合遠隔監視制御システム(ジャパン・イメージ&ネットワーク/協和テクノロジズ)などが展示されます。

#### 【これからの映像監視システム～「ネットワークカメラ・ゾーン」「防災ゾーン」企画コーナー】

映像監視カメラのなかでも、特に近年利用シーンの拡大が進むネットワーク(IP)カメラ。入退管理やPOSシステムなど外部のITシステムとの連携も可能なため、構内監視や侵入検知、遠隔監視などのセキュリティ目的だけでなく、人数解析や動線分析などマーケティングへの活用も広がりつつあります。本展においても、「ネットワークカメラ・ゾーン」を中心に、国内外の最新のネットワークカメラが紹介されます。

また、DVR(デジタルビデオレコーダー)が主流だった録画装置は、ネットワークカメラの普及に伴い、映像をIPネッ

トワーク経由で録画するネットワークビデオレコーダー(NVR)の市場投入が本格化してきています。パナソニック、日本ビクター、ソニーマーケティングなどのネットワークカメラ・メーカーの大手だけでなく、R.O.D、ITX SECURITY、セルコなどが最新のNVRを紹介します。

「防災・災害対策ゾーン」内の企画コーナーでは、「災害時における監視システム」をテーマに、全国の道路・河川・ダムなどに設置されている防災カメラの映像をWeb配信しているNPO法人e-FLAGSの活動紹介や、ヘリコプターテレビ伝送システム、高所監視カメラの参考展示などを行います。

## 注目のセミナー

### 【地域の事故、けがを予防する安全・安心な街づくり～「セーフコミュニティ」の現状と課題】

「セーフコミュニティ」とは、事故・犯罪による死亡やけがは偶然の結果ではなく、予防できるという理念のもと、行政と地域住民など多くの主体の協働により、健やかで元気に暮らすことができる街づくりを進めるものです。スウェーデンの地方都市で始まった住民の手で安心・安全な社会をつくらうという運動が体系化されたもので、データや記録から、事故などが「いつ」「どこで」「どのように」発生したかを調べ、対策に反映させるとともに、効果を検証し評価をしていくことも大きな特徴です。世界では、WHO(世界保健機関)を中心にセーフコミュニティの推進に取り組みられており、京都府では亀岡市をモデル地域としてセーフコミュニティに取り組み、日本初のWHOセーフコミュニティの認証を取得しました。

本セミナーでは「セーフコミュニティ」普及への現状と課題や我が国における先端的な事例を紹介します。

日 時： 2009年3月3日(火) 14:00～15:00

会 場： 東京ビッグサイト西ホール1階アトリウム特設ステージ(セキュリティ ステージ)

受講料： 無料

【基調講演】 14:00～14:30 世界に広がる「セーフコミュニティ」～普及への現状と課題

講師/東京大学教育学部教授、日本セーフティプロモーション学会理事長 衛藤 隆氏

【事例紹介】 14:30～15:00 日本初、WHO認証安全都市「セーフコミュニティ」の設計とは～亀岡市の取り組み

講師/京都府亀岡市企画課長 山内 勇氏

## 開催概要

会 期 2009年3月3日(火)～6日(金) 10:00～17:00(最終日のみ16:30終了)

会 場 東京国際展示場「東京ビッグサイト」西1・2ホール

主 催 日本経済新聞社

後 援 警察庁、日本商工会議所、全国商工会連合会、(財)店舗システム協会、米国大使館商務部(順不同)

協 賛 (社)日本防犯設備協会、(財)全国防犯協会連合会、(社)全国警備業協会、(社)全国建設業協会、日本EAS機器協議会、(社)日本設備設計事務所協会、日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、(社)日本ショッピングセンター協会、(社)日本フランチャイズチェーン協会、(社)日本ボランティア・チェーン協会、(協連)日本商店連盟、(協連)日本専門店会連盟、(社)日本シャッター・ドア協会、日本ロック工業会、(社)日本サッシ協会、板硝子協会、日本ウインドウ・フィルム工業会、(財)日本盲導犬協会、(社)日本ファシリティマネジメント推進協会(順不同)

協 力 テレビ東京、日経BP社(順不同)

メディア協賛 日本経済新聞デジタルメディア

規 模 出展社数 223社、出展小間数 672小間 (1小間=9㎡、1月20日現在)

出展分野 統合セキュリティシステム、映像セキュリティ、入退管理・個人識別、錠前・鍵、セキュリティファニチャー、ストアセキュリティ、セキュリティサービス、ホームセキュリティ・スクールセキュリティ、情報セキュリティ、公共関連セキュリティ・テロ対策、防災・災害対策

来場者数 75,000人(見込み)

入 場 料 一般=1,500円、団体(20名以上)=1,000円 <同時開催全展共通・消費税込み>

\*Webサイトの事前登録で無料(3月2日まで)

U R L <http://www.securityshow.jp/> (詳細情報を掲載中)

### 【掲載に関するお問い合わせ先】

#### 共同PR内 広報事務局

〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル

担当:黒田、吉田、富田

TEL.03-3571-5238 FAX.03-3571-5380

### 【読者からのお問い合わせ先】

#### ハローダイヤル

03-5777-8600 (2009年3月まで)

<http://www.shopbiz.jp/>

# 第25回 フランチャイズ☆ショー2009

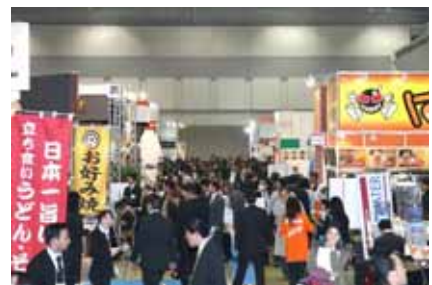
新規事業のベストパートナーを見つける3日間！

フランチャイズ本部やニュービジネス企業など160社が一堂に集結！

## トピックス

- 1) 「フランチャイズ・ショー」では有名チェーンから新興のチェーンまで、過去最多119社のフランチャイズ(FC)本部が加盟店を募集、なかでもサービス業FCの出展が増加！
- 2) 例年好評のフードコートも実施！
- 3) FC本部向けセミナーやFC加盟希望者向けセミナーも合わせて開催

25回目の開催を迎える「フランチャイズ・ショー2009」は、フランチャイズ(FC)本部やニュービジネス企業などがビジネスパートナーを募集する国内最大規模の展示会です。「フランチャイズ・ショー」ではフードサービス業、小売業、サービス業のFC本部による加盟店募集をはじめ、FC本部や店舗の支援を行う企業の出展や、FC本部設立・加盟に関する無料相談コーナー、好評のフードコートを展開。またフランチャイズ本部以外のビジネスパートナー募集として今後FC展開を検討するニュービジネス企業や販売代理店・業務提携先を募集する企業など、合わせて160社(1月20日現在)が出展します。また、業態の分かり易さと開業資金が比較的低額であることから人気が高いフードサービスの開業を支援するコンサルティングなども実施します。



## 主なみどころ

【定番業態から新興チェーンまでFC本部が一堂に会する国内最大規模の展示会】

本展示会では、定番業態のチェーンから今後の成長が期待される新興のチェーンまで、119社のFC本部などが一堂に会します。特に全出展FC本部のうち、新規出展を含め本展ではじめてチェーンを紹介する本部が47社あり、フードサービス業ではラーメン、お好み焼き、カレーほかの飲食店やデザートショップ、食事宅配など、小売業ではメガネ、花・雑貨やリサイクルショップ、各種専門品小売店など、サービス業ではインターネット複合カフェ、学習塾、フィットネススタジオなどが出展しており、「ベストパートナーを見つける3日間」を合言葉に各種FC本部が加盟店募集を行います。

【サービス業FCの出展が増加！】

サービス業FCの出展が増加しており、新業態の出展も目立ちます。大型・中型店舗で新規事業展開・事業の多角化を検討する企業経営者から、低資金での開業を検討する独立・開業希望者まで、様々なビジネス展開のニーズにこたえるフランチャイズビジネスを提案します。

【「その場ですぐに味わえる」フードコートに5社が出展】

毎年恒例のフードコートをフードサービス業エリアの特別コーナーとして実施します。街の人気ショップの味がその場で味わえます。

【フランチャイズ本部向け・加盟希望者向けセミナーを18講座開催】

フランチャイズ加盟による新規事業の展開は、自前によるビジネス立上げと比較し、リスクが少なく成長スピードが速いというメリットがあります。フランチャイズ企業の経営トップが戦略を語る講演や、中小企業診断士がそのノウハウや成長要因を解説するセミナーもあわせて開催します。

オープニングセミナー 3月10日(火) 10:30-12:10 **受講無料、事前登録制**

「フランチャイズ企業の経営トップが語る わが社の経営理念とフランチャイズ戦略」

主催:(社)日本フランチャイズチェーン協会、日本経済新聞社

【内容】フランチャイズは起業活動や事業再生の有効な手段として、また雇用創出に貢献するビジネスモデルとして社会的に広く認知されるまでに成長・拡大を遂げています。本セミナーでは、企業トップの方々に自社の経営戦略や事業展開、成長要因などを語っていただきます。

「FC業界の最新動向」- 黒川 孝雄氏 (株)フランチャイズ研究所 代表取締役

「モスバーガーの経営理念」- 櫻田 厚氏 (株)モスフードサービス 代表取締役社長 CEO

「当社の経営理念とFCビジネス」- 山本 善政氏 (株)ハードオフコーポレーション 代表取締役会長兼社長

クロージングセミナー 3月12日(木) 13:30-15:00 **受講無料、事前登録制**

「フランチャイズ企業のトップが語る マネジメント戦略」

主催:(社)日本フランチャイズチェーン協会、日本経済新聞社

【内容】フランチャイズは起業活動や事業再生の有効な手段として、また雇用創出に貢献するビジネスモデルとして社会的に広く認知されるまでに成長・拡大を遂げています。本セミナーでは、企業トップの方に自社のマネジメント戦略などを語っていただきます。

「今年のFCショーに見るFC業界の今」- 黒川 孝雄氏 (株)フランチャイズ研究所 代表取締役

「わが社のフランチャイズ戦略」- 住野 公一氏 (株)オートバックスセブン 相談役

詳細は <http://www.fcshow.jp/> をご参照ください。

## 開催概要

名称	フランチャイズ・ショー2009 (第25回)
会期	2009年3月10日(火)~12日(木) 10:00~17:00
会場	東京国際展示場「東京ビッグサイト」西3・4ホール (東京都江東区有明3-21-1)
主催	日本経済新聞社
特別協力	(社)日本フランチャイズチェーン協会
後援	経済産業省、農林水産省、中小企業庁、(社)商業施設技術者・団体連合会、全国商工会連合会、(独)中小企業基盤整備機構、(財)店舗システム協会、日本商工会議所、日本貿易振興機構(ジェトロ)、(財)流通システム開発センター(順不同)
協賛	全国商店街振興組合連合会、(社)全国スーパーマーケット協会、(財)全国中小企業情報化促進センター、日本小売業協会、(協連)日本商店連盟、(社)日本ショッピングセンター協会、日本政策金融公庫、(社)日本セルフ・サービス協会、日本チェーンストア協会、(社)日本ニュービジネス協議会連合会、日本百貨店協会、(社)日本フードサービス協会、(社)日本ボランタリー・チェーン協会、(社)中小企業診断協会(順不同)
協力	テレビ東京、日経BP社(順不同)
メディア協賛	日本経済新聞デジタルメディア
規模	出展社数 160社、出展小間数 316小間 (1小間=9㎡、1月20日現在)
出展分野	「 <b>フランチャイズ本部</b> 」 ・加盟店募集を行うフードサービス業・小売業・サービス業フランチャイズ本部 ・フランチャイズ本部設立・加盟相談、コンサルティング、情報・出版 ・フランチャイズ本部向け製品・設備・システム・サービス 「 <b>ビジネスパートナー募集</b> 」 ・製品・サービスの販売代理店・特約店募集を行う企業 ・業務・技術提携先の募集 ・店舗開店・ニュービジネス開業のための情報提供
来場者数	28,000人(見込み)
入場料	無料(登録制)
URL	<a href="http://www.fcshow.jp/">http://www.fcshow.jp/</a> (詳細情報を掲載中)

## 【掲載に関するお問い合わせ先】

**共同PR内 広報事務局**  
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル  
担当:黒田、吉田、富田  
TEL.03-3571-5238 FAX.03-3571-5380

## 【読者からのお問い合わせ先】

**ハローダイアル**  
03-5777-8600 (2009年3月まで)  
<http://www.shopbiz.jp/>